

富山県がん対策推進計画(2018(H30)～2023年度)の 主な指標と進捗状況

全体目標

指標	策定時	前年	現状	目標	目標 期限
I 予防の強化と早期発見の推進 ・がん罹患数の減少 （全がんの年齢調整罹患率の減少）（人口10万対） ・がんによる死亡者の減少 （75歳未満年齢調整死亡率の減少）（人口10万対）（※3）	391.3 （※1） （2013(H25)）	397.4 （※2） （2017(H29)）	384.1 （※2） （2018(H30)）	減少する	令和5年度
	68.3 （2016(H28)）	65.3 （2018(H30)）	64.6 （2019(R1)）	減少する	
II 質の高い医療の確保 県民が安心して質の高い医療が受けられるよう、診療体制の充実及びがん医療水準の向上	—	—	—	診療体制を充実させ、がん医療水準を向上する	
III 患者支援体制の充実	—	—	—	相談支援体制を充実させ、がんに関心する方やその家族を支える	

（※1）国立がん研究センター「全国がん罹患モニタリング集計2013」
 （※2）厚生労働省「全国がん登録罹患数・率報告」（2016（H28）以降）
 （※3）国立がん研究センター資料より

<参考>全国値

指標	策定時	前年	現状
全がんの年齢調整罹患率 （人口10万対）	361.9 （※1） （2013(H25)）	388.9 （※2） （2017(H29)）	385.1 （※2） （2018(H30)）
75歳未満年齢調整死亡率 （人口10万対）（※3）	76.1 （2016(H28)）	71.6 （2018(H30)）	70.0 （2019(R1)）

1 がんにかからない生活習慣の確立

【望ましい生活習慣の確立】

指 標	策定時 (※1)	現 状	目 標	目標期限
○食塩摂取量の減少 (成人1日あたりの平均摂取量)	男性 11.0g 女性 9.1g	令和3年度調査 予定	男性 8.0g 女性 7.0g	令和5年度 (※2)
○野菜摂取量の増加 (成人1日あたりの平均摂取量)	280.0g	〃	350g	

(※1) H28「県民健康栄養調査」

(※2) 目標期限は、県健康増進計画に準じる。

【たばこ対策の充実、強化】

指 標	策定時	現 状	目 標	目標期限
○成人喫煙率の減少	男性 26.9% 女性 4.8% (※1)	令和3年度調査 予定	男性 21% 女性 2%	令和5年度 (※5)
○受動喫煙の機会を有する者の割合の低下(a) (※6)	行政機関 0% 医療機関 10.6% 職場 21.2% 家庭 — (※2)	行政機関 0% 医療機関 7.7% 職場 10.8% 家庭 — (※4)	0%分煙→禁煙 0%分煙→禁煙 受動喫煙のない職場 0%	
○受動喫煙の機会を有する者の割合の低下(b) (※7)	行政機関 7.8% 医療機関 5.2% 職場 38.2% 家庭 12.4% (※3)	更新データなし	0% 0% 受動喫煙のない職場 0%	

(※1) H28「健康づくり県民意識調査」

(※2) H28「医療機能調査」、H26「事業所におけるがん検診等実態調査」

(※3) H28「県民健康栄養調査」

(※4) R1「医療機能調査」、R1「事業所におけるがん検診等実態調査」

(※5) 目標期限は、県健康増進計画に準じる。

(※6) 各施設の禁煙や分煙の状況を調査した結果より算出したもの。

(※7) 県民に対して直近1ヶ月間、受動喫煙の頻度(家庭のみ毎日)を調査したもの。

【ウイルスや細菌など感染の予防】

指 標	策定時	現 状 (R2)	目 標	目標期限
○胃がん罹患者の減少 (年齢調整罹患率、人口10万対)	男性 102.4 女性 33.8 (H25)(※1)	男性 76.4 女性 29.4 (H30)(※4)	減少する	令和5年度

(※1) 国立がん研究センターH25「全国がん罹患モニタリング集計」

(※2) 厚生労働省 H29「全国がん登録 罹患数・率 報告」

2 がんの早期発見体制の強化

【検診受診率の向上】

指 標	策定時 (H27)	現 状 (R2)	目 標	目標期限
○（市町村の）がん検診受診率の向上 厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」より作成	胃 12.9% 肺 33.8% 大腸 26.6% 乳 29.6% 子宮 27.5%	胃 18.9% 肺 32.2% 大腸 26.4% 乳 28.7% 子宮 27.1% (R1)	50%以上	令和5年度
○（市町村・職域を合わせた）がん検診受診率の向上 厚生労働省「国民生活基礎調査」	胃 44.6% 肺 50.5% 大腸 41.4% 乳 40.1% 子宮 39.9% (H28)	胃 44.5% 肺 52.5% 大腸 43.0% 乳 39.4% 子宮 38.8% (R1)		

【効果的健診手法等の普及】

指 標	策定時 (H28)	現 状 (R2)	目 標	目標期限
○乳がん検診に加えて自己触診の重要性も合わせた普及啓発 ・働く世代（40～64歳）の乳がん死亡率の減少（※1） （人口10万対）（※2）	25.9	22.0	減少する	令和5年度

（※1）本県の働く世代（40～64歳）の女性の乳がん死亡率（平成28年）が全国値（24.3（人口10万対））を上回っている等の状況により、特に注意が必要であるという観点から指標として設定したもの
（※2）厚生労働省「人口動態統計」、県「富山県の人口」より作成

3 質の高い医療が受けられる体制の充実

【富山県のがん診療体制の強化】

指 標	策定時 (H28)	現 状 (R2)	目 標	目標期限
○拠点病院を核とした専門的・機能的ながん医療体制ネットワークの充実・強化 ・5大がんの地域連携クリティカルパスの運用件数の増加 ※県健康課調べ	200件	148件	500件	令和5年度

【手術療法、放射線療法、薬物療法、手術療法のさらなる充実とチーム医療の推進】

指 標	策定時 (H28)	現 状 (R2)	目 標	目標期限
○拠点病院における多職種チーム医療体制の整備 ・がん医療関連チーム数の増加 ※県健康課調べ	57 チーム	60 チーム	100 チーム	令和5年度

【がん医療を担う専門的な医療従事者の育成及び資質の向上】

指 標	策定時 (H28)	現 状 (R2)	目 標	目標期限
○がん看護に携わる看護師の育成・確保 ・がん看護臨床実践研修の修了者数の増加 ※県医務課調べ ・がん分野の認定看護師数の増加 ※県医務課調べ	158名 (H29.8) 90名 (H29.8)	193名 (R1) 93名 (R2.12)	340名 増加する	令和5年度

【がんゲノム医療・免疫療法を含めた最新の医療技術への対応】

指 標	策定時 (H29)	現 状 (R2)	目 標	目標期限
○「がんゲノム医療中核拠点病院」と本県の拠点病院との連携構築	—	ゲノム医療が提供できる体制の整備が図られている (富山大学附属病院 がんゲノム医療拠点病院 県立中央病院 がんゲノム医療連携病院)	構築する	令和5年度

4 がん患者の支援体制の充実

【患者及びその家族の相談支援の充実】

指 標	策定時 (H28)	現 状 (R2)	目 標	目標期限
○患者とその家族の悩みや不安にきめ細かく対応するための、より活用しやすい相談支援体制の充実 ※県健康課調べ ・県総合相談支援センター・拠点病院の相談支援センターにおける相談件数の増加	4,530件 (H27)	7,384件	増加する	令和5年度

【がん患者の活動支援】

指 標	策定時 (H28)	現 状 (R2)	目 標	目標期限
○がん患者の不安や悩みを軽減し支援するためのピア・サポーターの養成及びピア・サポート活動等の推進 ※県健康課調べ ・ピア・サポーター数の増加 ・ピア・サポーターによる患者サロン等の開催回数の増加	71名 38回	113名 47回	155名 増加する	令和5年度

【がんの教育・普及啓発】

指 標	策定時 (H28)	現 状 (R2)	目 標	目標期限
○ボランティア団体等の協力によるがんを含む健康に関する正しい知識の普及啓発の推進 ※県健康課調べ ・がん予防推進員数の増加 ・がん対策推進員数の維持	519名 5,401名	569名 5,065名	700名 維持する	令和5年度

5 働く世代やライフステージに応じたがん対策の充実

【小児・AYA世代のがん対策】

指 標	策定時 (H29)	現 状 (R2)	目 標	目標期限
○県がん総合相談支援センターと関係機関との連携等による、AYA世代の多様なニーズに応じた相談支援の充実	—	小児・AYA世代のがん講演会や交流サロンを開催するなど充実を図っている。	充実する	令和5年度

【高齢者のがん対策】

指 標	策定時 (H29)	現 状 (R2)	目 標	目標期限
○拠点病院における「高齢のがん患者の意思決定の支援に関する診療ガイドライン」の活用	—	— (国で検討中)	全ての拠点病院	令和5年度

6 調査、研究の推進

【臨床研究の推進】

指 標	策定時 (H29)	現 状 (R2)	目 標	目標期限
○高度先端医療、臨床研究及び治験の実施体制の充実	—	すべての拠点病院が調査研究に協力しており、治験も含めた臨床研究、先進医療、患者申出療養等に関する適切な情報提供を行っている。	充実する	令和5年度